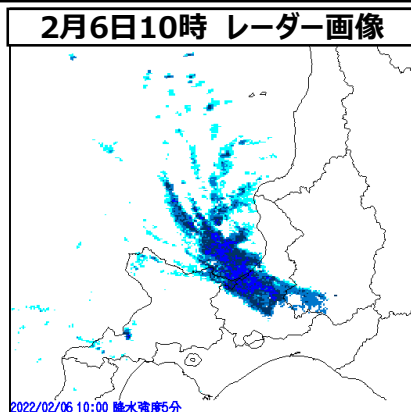
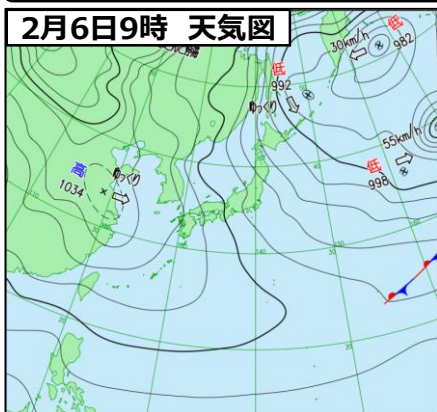


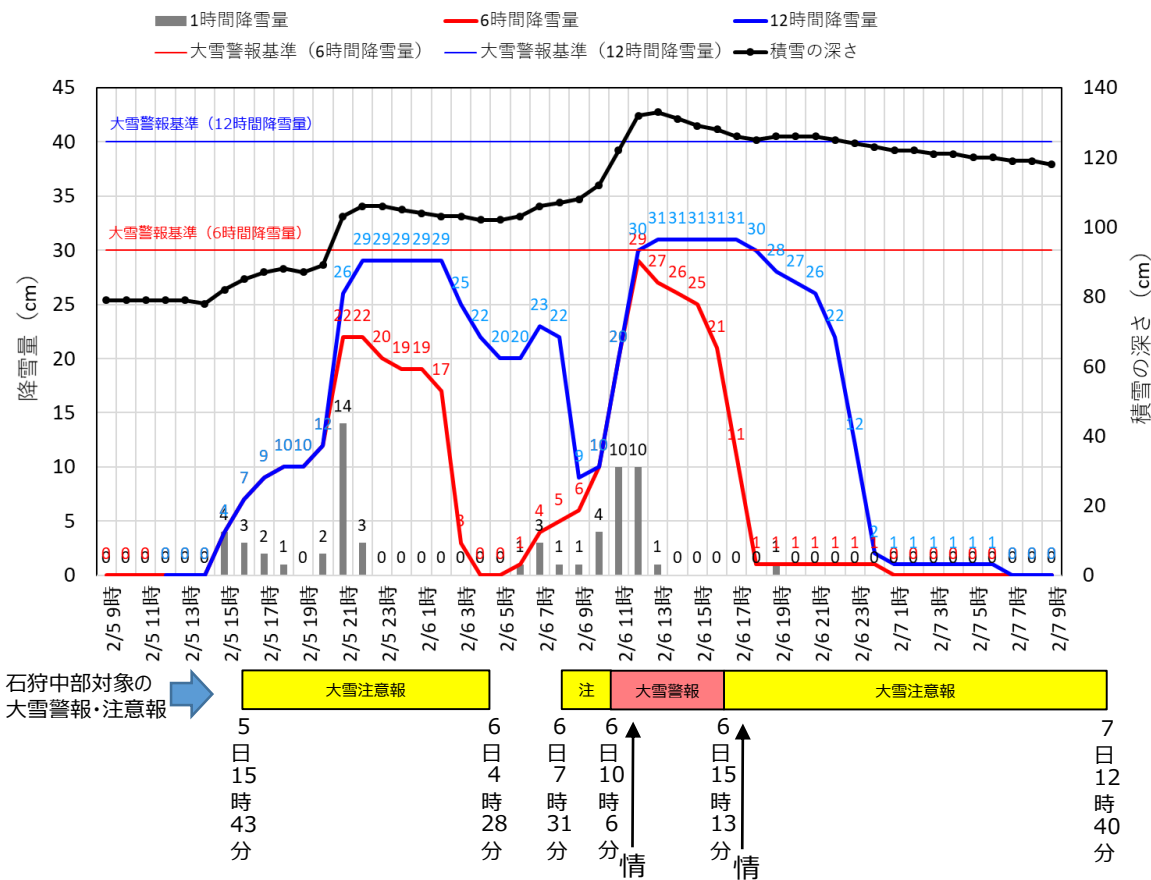
令和4年2月の大雪について（上旬）

北海道の上空に強い寒気が流入し、石狩湾で発達した雪雲が2月5日昼過ぎから6日にかけて、札幌市を中心とした石狩地方へ断続的に流入し、局地的な大雪となった。

札幌市中央区では24時間降雪量が60cmに達し、1999年の統計開始以来の記録を更新した。最深積雪は133cmとなり、2014年以来8年ぶりに100cmを超えた。

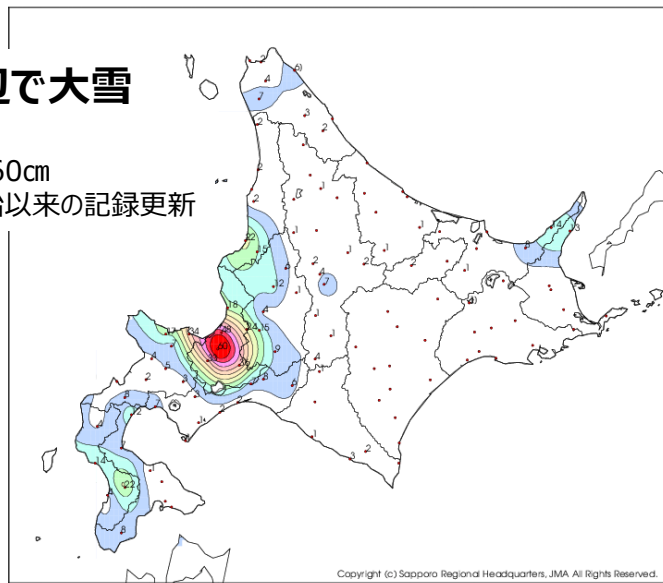


アメダス札幌の降雪量と積雪の深さの推移
(2022年2月5日9時～7日9時)



札幌市周辺で大雪

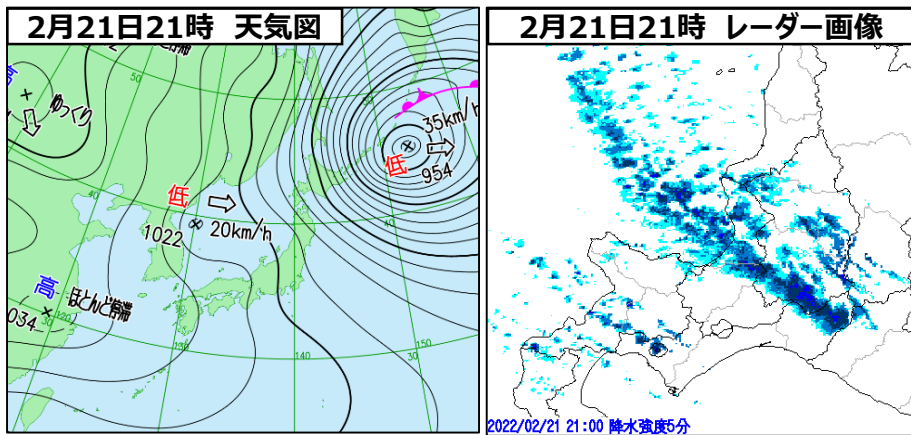
札幌市中央区で
24時間降雪量 60cm
1999年統計開始以来の記録更新



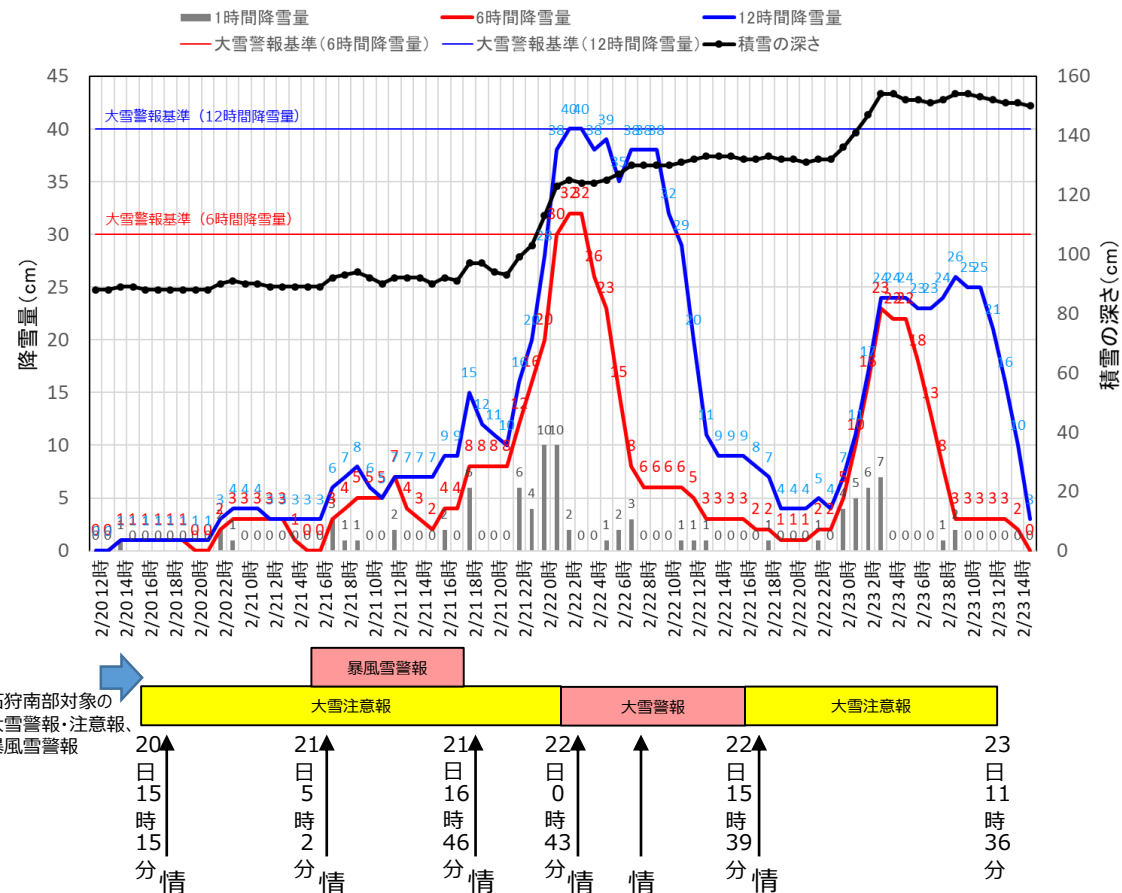
※下段の「情」及び矢印は石狩・空知・後志地方気象情報の発表タイミング

令和4年2月の大雪について（下旬）

2月20日夜から22日にかけて、急速に発達した低気圧が千島近海へ進み、北海道付近は強い冬型の気圧配置となった。石狩地方では北西の風が雪を伴い強く吹くと共に、強い雪雲の流入が続き大雪となった。最深積雪は恵庭市で154cm、千歳市で123cmとなり、統計開始以来の記録をそれぞれ更新した。



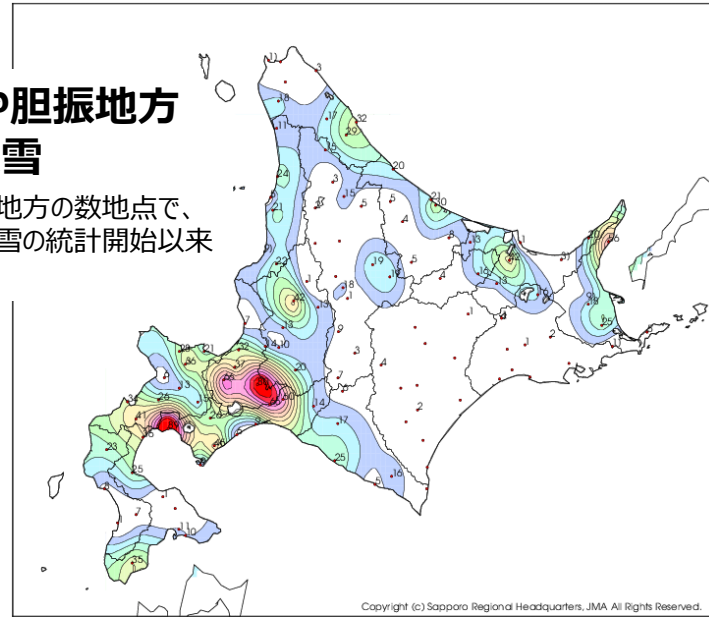
アメダス恵庭島松の降雪量と積雪の深さの推移
(2022年2月20日12時～23日15時)



※下段の「情」及び矢印は石狩・空知・後志地方気象情報の発表タイミング

石狩南部や胆振地方を中心に大雪

石狩南部や胆振地方の数地点で、降雪量や最深積雪の統計開始以来の記録更新



2月21日6時～2月23日6時の総降雪量 (cm)

10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70

大雪による主な輸送障害について

令和4年2月上旬の大雪

○JRの運休

- ・2/6~2/13の間で、計3,525本運休。
約55万5,200人に影響。
- ・17駅に29本の列車が留置し除雪に時間を要した。
- ・2/6午後~2/8夜頃まで、札幌駅発着全列車運休。
- ・2/14~全列車通常運転再開。

○バスの運行

- ・空港連絡バス:2/6~8の間、増便対応。
札幌駅→福住駅に発着点変更対応。
- ・都市間バス:2/6~9の間、複数の札幌~道内各方面路線で運休発生。
札幌駅→大谷地駅に発着点変更対応。
- ・札幌市内路線バス:2/6~10の間、複数路線で運休、遅延多数発生。ピーク時は3~4時間の遅延発生。

令和4年2月下旬の大雪

○JRの運休

- ・2/21~2/27の間で、計3,559本運休。
約47万4,230人に影響。
- ・2/21終日~22夕方頃まで札幌駅発着全列車運休。
- ・2/21~23の間、新千歳空港~札幌市内間のJR終日運休。
- ・2/28~全列車通常運転再開。

○バスの運行

- ・空港連絡バス:2/21~23の間、運休、遅延多数発生。
高速道路通行止めによる大幅な遅延発生。臨時便増便。
- ・都市間バス:2/21~23の間、複数の札幌~道内各方面路線で運休発生。
- ・札幌市内路線バス:2/21~23の間、複数路線で運休発生。

○新千歳空港での滞留

- ・航空機欠航、JR運休、高速道路通行止めによるバス、タクシーの遅延により、2/22に約650人の空港宿泊者、2/23は最大約6,000人の滞留者、約660人の空港宿泊者が発生
- ・2/21~23の間で484便欠航（22日は全便欠航）

令和4年2月の札幌圏を中心とした大雪に係る「輸送障害に係る検証」について

- 令和4年2月上旬の大雪 → 2月6日～13日の間でJRが計3,525本運休。約55万5,200人に影響。
- 令和4年2月下旬の大雪 → 2月21日～27日の間でJRが計3,559本運休。約47万4,230人に影響。新千歳空港で最大約6千人の滞留者。

北海道防災会議

指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関、学識経験者等 65機関

↑ 最終報告（6月上旬）

北海道雪害対策連絡部

指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等 22機関

JR北海道独自の検証

北海道運輸局へ中間報告（3月16日）

↓ 共有

※通常は毎年11月～3月までの設置のところ、本検証を行うため、4月以降も設置継続

雪害対応検証チーム

（北海道雪害対策連絡部構成機関+札幌市、バス事業者、北海道エアポート）

[コア機関] 道（事務局）、札幌市、北海道運輸局、北海道開発局、JR北海道、バス事業者、日本貨物鉄道、北海道エアポート、NEXCO東日本、気象台、自衛隊、警察、教育庁

- [主な検証項目]
- 輸送障害対策
 - 道路除排雪対策
 - 気象情報等の利活用
 - 雪害発生時の応急活動・体制
 - 情報発信・共有
 - 応援・受援（自衛隊災害派遣含む）

輸送障害に係る検証 ⇒ 情報共有WGを活用し検討

[関係機関] 北海道運輸局、道、北海道バス協会、北海道ハイヤー協会、JR北海道、ANA、北海道エアポート、NEXCO東日本 等

道路除排雪に係る検証

[関係機関] 北海道開発局、道、札幌市、NEXCO東日本 等

令和4年4月28日「令和4年度 第1回 情報共有・対応強化WG」を開催

構成：北海道大学公共政策大学院 石井客員教授、交通事業者などの14団体の実務者

内容：令和4年2月の大雪時における対応について情報共有を行うとともに、今後の取組の方向性と内容について意見交換を実施

関係者意見を踏まえ「輸送障害への対応に係る検証報告」をとりまとめ